

角膜カンファレンス 2021 一般口演

【演題名】 インターフェロメトリー法 idra と LipiView による涙液油層厚測定と比較

【英文タイトル】 Measurement of tear film lipid layer thickness with idra and LipiView

【ショートタイトル】 idra と LipiView の涙液油層厚測定

【英文ショートタイトル】 LLT by idra and LipiView

臨床研究、涙液、ドライアイ

福岡詩麻 1,3,4、有田玲子 2,3,4

1. 大宮はまだ眼科西口分院, 2.伊藤医院, 3. LIME 研究会、4.東京大

【目的】マイボーム腺から分泌されるマイバムは、涙液油層を構成し、涙液の蒸発を抑制し、涙液安定性を維持している。近年、定量的なインターフェロメトリー法 (TI) により涙液油層厚 (LLT) の測定が可能となり、非侵襲的にマイボーム腺機能を評価できるようになった。今回、新たな TI である idra (SBM 社) を従来からある LipiView (Johnson & Johnson 社) と比較検討した。

【方法】対象は、2020 年 1~9 月に伊藤医院にて、idra と LipiView 両機器にて検査を受けた 109 例 218 眼のうち、idra による LLT が 100 以上の 7 眼と測定不能の 1 眼を除外した 102 例 209 眼である。撮影範囲は、idra は角膜中央下方、LipiView は角膜下方である。idra による LLT 測定値を LipiView による値と比較した。

【結果】LLT の最小値と最大値は、LipiView では 23、157 nm、idra では 41、95 nm であった。LLT の平均値±標準偏差は、LipiView では 77.3 ± 36.3 nm、idra では 67.9 ± 11.9 nm であった。idra による測定値は LipiView に比べ 9.4 ± 2.4 nm (差の平均±標準誤差) 少なかった。LipiView と idra による測定値の相関係数は、0.24 ($p<0.001$) で 2 つの機器による測定値には相関がみられなかった。

【結論】idra による LLT は、LipiView による測定結果と一致しているとはいえなかった。両機器の撮影範囲の違いによる可能性がある。